

第3学年 人権学習 指導案

1. 題材名 「障がい理解」

2. 題材設定の理由

○ 題材観

「障がい理解」を深める単元の中で、題材として「聴覚障がい」を取り上げているのは一昨年度からである。これは、ひとりの本校生徒から問題提起を受けたことに端を発している。従来「障がい理解」のためには車椅子やアイマスクを用いた体験学習を実施していたのだが、この中に聴覚障がいに関する学習内容を加えられないものかとの問題提起だった。この生徒は自身が聴覚に障がいのある生徒であった。彼女自身の体験や思いを提示してもらうことで、それを受け止め、彼女とともに他の生徒の協力も受けながらVTR教材を作成することができ、以後このVTR教材を中心に据え学習内容を構成し、今に至っている。

以上示したように、本題材は目の前の生徒の思いを受け止め、その思いを教材化することで他の生徒の学習内容を創っていったという経緯をもっている。人権教育の取組のひとつの成果として捉えたい。

○ 指導観

本単元は先にも示したように、一昨年度、聴覚に障がいがある本校生徒からの問題提起を学校として真摯に受け止め、生徒・教員が協力してVTR教材を作成するところから始まった取組である。この経緯をわかりやすく提示することで、本題材に対する生徒の向き合う姿勢を高めたい。

外見からはわかりづらい障がいである「聴覚障がい」に関して、その当事者の思いや体験を知ることは、「障がい理解」を深める上でも重要で貴重な学習経験になるはずである。特に口話の読み取りが如何に困難をきわめるものかという点は、演習を行う中で実感できることを期待している。延長線上には、行動する主体として、手話に対する興味を喚起することも含まれている。

また「聴覚障がい」に対する理解を深めることで、他の「障がい」に対する関心にも目を向けさせたい。知らないことから来る誤解や偏見を解消していくためにも、知ること（知的理解）の大切さに気付くことで、生徒の人権感覚の育成を推進したい。

3. 目標

- ① 本題材の取組が本校生徒の発信から構成されたことを認識させることで、生徒の学ぶ関心・意欲・態度を高める取組とする。
- ② 「聴覚障がい」に関して、当事者の思いや体験を知ることで生徒の知的理解を深める取組とする。
- ③ 「聴覚障がい」に対する知識・理解を深めることで生徒の人権感覚を育成し、他の「障がい」にも目を向けることのできる思考・判断力養成の過程とする。
- ④ 口話や手話といった「聴覚障がい」のある者にとってのコミュニケーション手段に対する生徒の興味関心を喚起し、生徒が行動する主体としてそれらの技能・表現を習得しようとする契機をつくる。

4. 指導計画 「障がい理解」 2時間

5. 教材

- 生徒
 - ①資料プリント【本単元取組の経緯説明を生徒が理解するためのもの】
 - ②演習プリント【VTR教材を視聴しながら生徒が記入するためのもの】
 - ③感想記入プリント【本単元の最終段階で生徒が記入するためのもの】
- 指導者
 - ④資料プリント【本単元取組の経緯を指導者が説明するためのもの】
 - ⑤VTR教材「わかりあえるっていいねー聴覚障がいの理解のために」
 - ⑥演習プリント【VTR教材を視聴しながら生徒が記入するためのもの】

6. 過程

	学習活動	指導上の留意点	教材	配時	形態	評価
事前にグループ分けを行い、各グループのリーダー研修（意見交流の実践方法に関するもの）を行っておく						
導入	○ 本題材の学習内容を確認する	○ 学年テーマ「さまざまな差別」に対する知的認識を深めるための単元であることを理解させる		5分	一斉	(1)
展開①	○ 本題材設定の経緯を理解する	○ 指導者自身が本題材の取組の経緯をよく理解し、本校にとって意義ある実践であるとの認識を確立しておく ○ 資料プリントを配布し、それに添った説明を心がける	①	20分	一斉	(1)
展開②	○ VTR 教材を視聴しつつ、演習プリントへ記入する	○ 演習プリントを配布し、VTR 視聴中に指示に従って演習プリントに記入することを理解させる ○ VTR 教材の中で行う演習に関して、生徒が混乱していることが見受けられる際には、適宜助言を行う	② ⑤	25分	一斉・個別	(2)
休憩 10分						
展開③	○ 演習プリントを振り返りながら、意見交流を行う（1点目「どんな差別があるか」、2点目「どんな障がいがあるか」、3点目「Bの立場からAに話しかける言葉」）	○ 休憩時間の終わるまでにグループ学習の形態をつくるよう指示しておく ○ 意見交流が進展しない場合は、適宜助言を行う	②	20分	グループ	(2)
展開④	○ 各グループから意見交流の内容報告を行う	○ 各グループからの内容報告を聞く態度を指導する	②	10分	一斉	(2)
まとめ	○ 本単元（本時）の感想を各自でまとめる	○ 各自の感想記入プリントは、各グループの報告がすべて終わった段階で配布する	③	20分	個別	(1) (2)
評価	<p>(1) 本題材（本時）の取組が本校生徒の発信から構成されたことを認識し、学ぶ姿勢を示している。 【関心・意欲・態度】</p> <p>(2) 「聴覚障がい」に関して、当事者の思いや体験を知ること、知的理解を深めている。 【知識・理解】</p>					